

放送ライブラリー公開番組＜夏八木勲さん関連＞

※8階視聴フロアで視聴できます

＜テレビ番組＞				
番組ID	タイトル	放送局	ジャンル	内容
013507	五社英雄アワー 雪之丞変化[1]	フジテレビジョン 47分 1970/4/6	時代劇	無実の罪で処刑された長崎の豪商の遺児が、後に艶やかな女形となり復讐を遂げていく時代劇。(全13回)◆20年前、豪商松浦屋清佐衛門は、長崎奉行土部繁右衛門によって密貿易の濡れ衣を着せられ、一族皆殺しの刑に処せられた。しかし清佐衛門が芸妓に生ませた隠し子・雪太郎は難を逃れ、歌舞伎役者中村菊之丞のもとで成長し、人気女形・中村雪之丞となる。
001045	連続テレビ小説 鳩子の海[1]	NHK 15分 1974/4/1	ドラマ	敗戦の頃、美しい瀬戸内の港町にまぎれこんだ戦災孤児の少女のその後を、日本の戦後の30年に託して描いた。連続テレビ小説第14作。作:林秀彦(全312回)
002923	花神 総集編[4] 徳川を討て	NHK 90分 1978/3/31	時代劇	幕末の長州藩を舞台に、討幕に指導的役割を果たした大村益次郎(中村梅之助)、吉田松陰(篠田三郎)、高杉晋作(中村雅俊)らの活躍を描く。NHK大河ドラマ第15作の総集編。全5回。原作:司馬遼太郎。◆第4回「徳川を討て」。
002924	花神 総集編[5・完] 維新回天	NHK 120分 1978/4/1	時代劇	幕末の長州藩を舞台に、討幕に指導的役割を果たした大村益次郎(中村梅之助)、吉田松陰(篠田三郎)、高杉晋作(中村雅俊)らの活躍を描く。NHK大河ドラマ第15作の総集編。全5回。原作:司馬遼太郎。◆最終回「維新回天」。
003010	真田太平記[1] 若武者たち	NHK 44分 1985/4/3	時代劇	天正10年の武田家滅亡から、大阪夏の陣とその戦後に至る戦国末期を生き抜いた真田一族の波乱万丈の物語を通して、乱世の男たちの夢とロマンを描く。原作:池波正太郎(全45回)◆戦国の雄・武田信玄はすでに亡く、その虚に乗じた織田・北条・徳川の前に武田家は滅びようとしていた。信玄の恩を受けていた上州の真田昌幸(丹波哲郎)は武田の再起を図るがかなわず、息子・信幸(渡瀬恒彦)と幸村(草刈正雄)と共に真田家の生き残りの方法を模索する。
002411	真田太平記[45・完] 生きる	NHK 44分 1986/3/19	時代劇	真田家取りつぶしをもくろむ将軍・秀忠のたくらみを、信之は京のお通の助力、角兵衛の死によって辛うじて免れた。だがその5年後、信之は上田から信州松代への移封を命じられる。豊臣ゆかりの大名たちがいずれも同様の処理を受けたとはいえ、信之にとり父・昌幸、弟・幸村の思い出の地を離れることはつらい。だが真田家のために耐えねばならなかった。
003213	忠臣蔵[1] 君、怒りもて 往生を遂ぐ	日本テレビ放送網 119分 1985/12/30	時代劇	おなじみの「忠臣蔵」を、大石内蔵助の内面の葛藤、討ち入り後の世間や幕府内部の反応なども描いて新しい切り口からとらえた(全2回)◆勅使饗応役をおおせつかった浅野内匠頭(風間杜夫)は、度重なる侮辱を受けた吉良上野介匠(森繁久彌)に、江戸城松の廊下において刃傷沙汰に及んでしまった。内匠頭はその日のうちに切腹、吉良にはおとがめなしであった。悲報を受けた赤穂の国家老・大石内蔵助(里見浩太郎)は、開城、籠城と紛糾する藩内をまとめ、ひそかに仇討ちの決意を固めてついでくる者たちと誓紙を交わした。

放送ライブラリー公開番組＜夏八木勲さん関連＞

※8階視聴フロアで視聴できます

番組ID	タイトル	放送局	ジャンル	内容
003215	白虎隊〔1〕 京都動乱	日本テレビ放送網 145分 1986/12/30	時代劇	幕末の動乱期、藩民挙げて討幕軍と戦った会津藩の人々を描く。藩士や家族の悲劇、志に燃えて若い命を散らした少年たちの青春群像劇(全2回)。◆1862年(文久2)、会津藩主・松平容保(風間杜夫)に京都守護職の命が下る。国家老・西郷頼母(里見浩太郎)は、京都の動乱に巻き込まれることを恐れ辞退を進言するが容保はこれを受けた。藩士千人を率いて上洛、尊皇攘夷派を排除して勢力を強めるが、孝明天皇の死によって討幕が盛り返し、佐幕派の会津藩は追い詰められていく。
007016	土曜ドラマスペシャル ラストバラードは君に	東京放送 96分 1988/11/26	ドラマ	時代と合わず落ち目になったロックシンガーが、世の流れとの葛藤に悩みながらも出直しを図るまでを描く。◆人気絶頂のロックシンガー・片桐。しかしコンビを組んでいた作詞家・藤崎が時代からのずれを指摘して死んでから歯車が狂いはじめた。感覚の新しい藤崎の弟子・恵子と組むよう言い残されていたがそれを受け入れず、かたくなに自分のスタイルを崩そうとしない片桐。新曲披露のコンサートでのノリも悪い。ポリープができ声が出にくくなったが失敗を恐れて手術を受けない。フォローしていたメンバーもソロで立ち、片桐はいよいよ取り残されてゆく。
007464	あばれ八州御用旅〔1〕 国定忠治を斬れ！	テレビ東京 91分 1990/4/13	時代劇	関東一円・関八州の治安を取り締まる八州廻り・藤堂平八郎の活躍を描く。平八郎が若手の新兵衛、女忍者・小百合、用心棒の浪人・哲之介とともに、悪をくじき弱さを助ける勧善懲悪の時代劇。◆藤堂平八郎(西郷輝彦)は神田で開業する蘭学医者。剣の友で八州廻り役人の青木が、博徒・国定忠治(夏八木勲)に殺された。平八郎は青木の妻子を連れて上州に遺体を引き取りに行く。やがて青木殺しは忠治ではないことがわかる。平八郎は“影の八州廻り”を志願し、悪人一味と対決する。
009304	大型時代劇スペシャル 大激闘！四匹の用心棒	テレビ朝日 141分 1990/10/4	時代劇	用心棒“かかしの半兵衛”が大名のお家騒動に正義の剣をふるうアクション時代劇。◆時は天保、浪人が溢れ百姓一揆が頻発していた。日光街道をあてもなく旅していた半兵衛は裏街道で数人の侍に襲われていた武家娘・志津を助けた。どうやら岩上藩のお家騒動に巻き込まれているらしい。岩上藩では幼君をたてて国家老と江戸家老が権力争いをしており、双方腕の立つ浪人を集めていた。半兵衛は口入れ屋のお虎の口利きで、国家老の山際に雇われる。
005304	日出づる国の密使 明石元二郎 ペテルブルグの謀略	RKB毎日放送 99分 1992/1/4	ドラマ	日露戦争の側面で密かに遂行された陸軍武官によるスパイ活動を描くドキュメンタリードラマ。◆1904年(明治37)日露戦争が勃発。北の大国ロシアと極東の小国との戦いの帰結は明らかに思われたが、ロシア帝国の内部崩壊を画策して革命派に資金を渡し、革命を扇動した日本の武官がいた。ヨーロッパ駐在陸軍武官・明石元二郎大佐は、フィンランドの革命家シリアクスと組んでペテルブルグ武装蜂起計画を軸とする「明石工作」を進めていた。
006079	運命峠	フジテレビジョン 144分 1993/1/6	時代劇	家康の六男・松平忠輝の双子の弟として生まれ、時代の表舞台に立つことを許されなかった男・秋月六郎太の数奇な運命を描く。◆亡き豊臣秀頼の寵愛を受けた桂宮蓮子と秀頼の遺児・秀也を助けたことから、六郎太(松平健)の波乱の人生の幕が開く。生きていてはならぬ豊臣の子に自分と同じ運命を感じとった六郎太は、死力を尽くして徳川の手から母子を守り抜こうと決意する。襲いかかる柳生一族の刃をくぐり、徳川方の手に落ちた秀也を追い六郎太たちは江戸へと向かう。原作・柴田錬三郎。

放送ライブラリー公開番組＜夏八木勲さん関連＞

※8階視聴フロアで視聴できます

番組ID	タイトル	放送局	ジャンル	内容
006136	ドラマ 巖流島 小次郎と武蔵	NHK 118分 1992/1/1	時代劇	宮本武蔵、佐々木小次郎の巖流島の決闘について史料はほとんど残っていない。二人の対決が、時代の変わり目で動揺する小倉細川藩の新旧世代に仕組まれたという新解釈で描く。◆慶長17年、合戦の主力は刀から鉄砲へと移りつつあった。鉄砲を支持する家老たちには藩の精神的支柱でもある剣術指南役の佐々木小次郎(渡辺謙)の存在がうとましい。そこで浪人ながら高名な剣士・宮本武蔵(滝田栄)に目をつけ、小次郎との決闘を仕組んだ。様々な思惑の中、二人は運命の日を迎える。
006759	国際共同制作ドラマ ザ・ラストUポート	NHK 104分 1993/1/2	ドラマ	第2次世界大戦末期、日本人技術将校と極秘資材を乗せて日本へ向かったUポート。追跡戦と脱出、そして敗戦による運命の変転を描く。◆1945年4月、一隻のUポートがドイツを極秘に出航した。積み荷は日本に提供される原爆開発のための図面とウランウム、そして二人の日本人技術将校。この航海は連合軍の知るところとなり、英・米海軍の激しい追跡を受ける。ようやく振り切ったところへドイツ降伏の知らせが届く。降伏派、亡命派、任務遂行派に分かれて激しいやり取りが続くなか、とうとう艦長が決断を下す。
007892	文吾捕物絵図 男坂界限	日本テレビ放送網 97分 1991/3/26	時代劇	魚屋のせがれが親のかたきの浪人を殺して逃げた。奉行所は殺された浪人の罪は問わずに下手人ばかりを追い、長屋の連中は知らぬ存ぜぬを通す。対立の中で事件を探索する岡っ引き・文吾の活躍を描く。脚本:倉本聰。
011153	新春大型5時間時代劇スペシャル 独眼竜の野望 伊達政宗〔1〕	テレビ朝日 91分 1993/1/3	時代劇	戦国時代、奥州から天下制覇の野望を持った武将・伊達政宗の波乱に満ちた生涯を描くドラマ。◆本能寺で信長が討たれた頃、奥州では米沢の領主・伊達輝宗の嫡男・政宗が豪族を破り、領土を広げていた。しかし伊達家は世継ぎ問題に揺れていた。輝宗との政略結婚で山形の最上家から嫁いできた義姫は政宗への愛情は薄く、小次郎に家督を継がせたいと思っていた。しかし、輝宗は政宗に継がせる。隠居した輝宗は、政宗の領土拡大の犠牲となる。また、政宗が無断で会津の芦名氏を討ったことに秀吉が激怒し、政宗に上洛を命じる。
011154	新春大型5時間時代劇スペシャル 独眼竜の野望 伊達政宗〔2〕	テレビ朝日 147分 1993/1/3	時代劇	政宗は秀吉から小田原の北条攻めに加わるよう命じられ、いざというときは秀吉を刺す、と小田原行きを覚悟する。しかし義姫は、政宗が秀吉に殺され伊達家が潰されることを恐れ、小次郎に政宗殺しを命じる。だが小次郎は臆して討てず、義姫もまた毒殺に失敗。小次郎は切腹して政宗に詫言、義姫も山形へ去る。ついに政宗は小田原に行く。政宗は役に立つ男という前田利家の進言で秀吉は政宗殺害を思い止まるが、代わりに領地返上と正室愛姫を人質に出すよう命じる。
008217	花の乱 総集編〔1〕 室町夢幻	NHK 87分 1994/12/24	時代劇	室町幕府8代将軍足利義政の妻・日野富子を中心に、応仁の乱に揺れる時代を描く。NHK大河ドラマ第33作の総集編(全2回)。作:市川森一。◆第一部「室町夢幻」。日野富子(三田佳子、松たか子)の出生の秘密から、今参局や日野重子らが繰り広げる御所内の権力闘争、それらをくぐり抜けた富子に誕生した実子とその子をきっかけにした応仁の乱の勃発までを描く。

放送ライブラリー公開番組＜夏八木勲さん関連＞

※8階視聴フロアで視聴できます

番組ID	タイトル	放送局	ジャンル	内容
009908	BS日曜ドラマ 父帰る[1] アナタともどもとつぜん	NHK衛星第2 45分 1996/11/10	ドラマ	41歳の時に脳いっ血で倒れた作家・永倉万治の闘病記をもとに、社会復帰に向けての苦難に満ちた闘病の様子と、彼を取り巻く同病の患者たち、家族との人間模様を描く(全4回)。◆作家の永倉は車で突然倒れ病院に運ばれる。診断は高血圧性脳出血。一命をとりとめるが、医師は右半身のマヒと失語症の覚悟が必要だと妻の有り子に告げる。マッサージ師の桜庭や妹の淑江に励まされ看護の日々が始まる。
009910	BS日曜ドラマ 父帰る[3] アナタともどもさようなら	NHK衛星第2 45分 1996/11/24	ドラマ	転院して本格的なりハビリを始めた永倉は、言語療法士の竹内から「書く能力に問題がある」と宣告される。同室になった鈴木や崎山たちは、不自由な言葉で落ち込む永倉を励ます。ある日、絵を見た連想を文章にするという課題が与えられる。死にものぐるいで取り組む永倉は、病後はじめて文章を書くことができた。そんな長倉に仕事の依頼がくる。
010434	毛利元就 総集編[1] 妻たちの言い分	NHK 60分 1997/12/28	時代劇	“三矢の教え”で知られる毛利元就の生涯を、彼を取り巻く女性たちの視点から描く。NHK大河ドラマ第36作の総集編(全4回)。原作:永井路子。◆第一部「妻たちの言い分」。尼子・大内という二大勢力に挟まれた弱小国の領主・毛利家の二男松寿丸は、幼くして両親を亡くし、家臣たちの間で孤立する。唯一の味方は父・弘元(西郷輝彦)の側室だった杉の方(松坂慶子)。やがて元服して元就(中村橋之助)と名を改めた直後、兄の興元(渡部篤郎)までも失い、家督争いに巻き込まれていく。
010435	毛利元就 総集編[2] 三本の矢	NHK 60分 1997/12/28	時代劇	第二部「三本の矢」。家督争いを切り抜け、毛利家当主となった元就(中村橋之助)。妻・美伊(富田靖子)をめとり、4人の子どもにも恵まれた。元就は大内・尼子という大國の狭間の弱小國で、知恵と策略を駆使して家族を守るため戦い続ける。
010445	土曜ドラマ 黄昏流星群 ～恋をもう一度～[1]	NHK 75分 1998/2/14	ドラマ	会社人間として生きてきた50男に流星のように訪れた危うい恋が生き方を変えていく。人生の黄昏にある男女の新しい幸福論をほろ苦く描く(全2回)。◆大手銀行支店長の盛本芳春は、娘・美紀の結婚を間近に控えて出向を打診された。娘の結婚相手は大蔵省のエリート。世間体を気にする妻や義母には言い出せない。虚しさを感じた芳春はスイスに旅立ち、誠子と出会う。
010446	土曜ドラマ 黄昏流星群 ～恋をもう一度～[2]	NHK 75分 1998/2/21	ドラマ	誠子と逢瀬を重ねる芳春だったが、彼女の妊娠を知った直後に本店の営業本部長への昇進を打診される。子どもを産みたいという誠子に、芳春はつらい別れを告げる。そのころ、芳春の妻・郁子は、ホテルの領収書で夫の不倫を知り、自分の生き方に疑問を持つ。芳春は子どもを諦めた誠子と海へ行き、一年後に気持ちが変わらなければここで会おうと約束をする。
011194	NHKドラマ館 いちばん綺麗なとき	NHK 75分 1999/1/23	ドラマ	亡夫に長く交際していた相手がいたことを突然知らされた女と、近くに暮らす義理の姉。老いをみつめる年齢になった人々の揺らぎを通して、人の思いと人生を描く。◆3年前に夫を亡くした謡子。ある日武田という男が訪れ、彼の亡くなった妻と謡子の夫が付きあっていたと告げる。二人は、彼らの旅した舞鶴の写真館で一枚の古い写真を探し当てる。武田も見つかったことのない、若く綺麗な妻の写真だった。謡子が武田に心を開いたと知って、義姉の昭子は謡子を厳しく咎める。脚本:山田太一。

放送ライブラリー公開番組＜夏八木勲さん関連＞

※8階視聴フロアで視聴できます

番組ID	タイトル	放送局	ジャンル	内容
011634	連続テレビ小説 すずらん 総集編[1] 少女編	NHK 59分 1999/12/27	ドラマ	駅に置き去りにされた孤児・萌の生涯を、大正から平成までの時代と鉄道の移り変わりに重ねて描く朝の連続テレビ小説の総集編。(全4回)◆第一章。大正12年(1923)冬、北海道の明日萌(あしもい)駅に赤ん坊が置き去りにされた。駅長の常盤次郎(橋爪功)は萌と名付け、我が子として育てる。明日萌は炭鉱町で活気に溢れていた。萌(柗瑠美)は駅前旅館の松吉夫妻らに見守られて成長するが、姉の縁談をきっかけに自分の生い立ちを知る。そして父と姉の幸せを願って家を出るが、孤児院幸福学園の厳しい生活に耐え切れず脱走する。
011635	連続テレビ小説 すずらん 総集編[2] 激動編	NHK 59分 1999/12/28	ドラマ	第二章。昭和15年(1940)、18歳になった萌(遠野凧子)は炭鉱王・橘の息子勇介と恋に落ちる。しかし周囲の反対を受けて身を引き、東京へ向かう。食堂で働くうちに常連の鉄道員・日高と知り合い、結婚。子どもにも恵まれるが、やがて戦争に巻き込まれ、食堂は焼失、日高も戦死する。萌はしばらく明日萌に身を寄せるが、幼なじみのしのかから実母の手がかりを得て再び上京する。
011636	連続テレビ小説 すずらん 総集編[3] 運命編	NHK 59分 1999/12/29	ドラマ	第三章。萌(遠野凧子)は浅草の置屋・鶴廻家に住み込みで働きながら母を捜す。母の周辺にはなぜか橘の影がある。手がかりは富貴という名と三味線、次郎の作る木彫りの人形。ついに萌は自分の出生の秘密を知る。次郎は鉄道省の廃止とともに退職。互いの親の確執を乗り越えて萌と勇介は結婚を誓うが、勇介が亡くなり、萌は故郷へ。改心した橘は萌に富貴の居場所を教え、親子は涙の対面を果たす。
011637	連続テレビ小説 すずらん 総集編[4・完] 完結編	NHK 59分 1999/12/30	ドラマ	最終章。昭和57年(1982)、59歳になった萌(倍賞千恵子)は息子夫婦と暮らしていたが居場所のなさを感じ、初めての一人暮らしを始める。そんなとき、萌に橘の遺産の一部30億円が贈与される。「いつの時代も子ども達の未来は輝いていなければならない」。友人・民子の言葉を胸に、萌は長年の夢だった保育園建設に情熱を燃やすが、その体はすでに病魔に冒されていた。
013275	葵 徳川三代 総集編[1] 天下分け目	NHK 58分 2000/12/27	時代劇	徳川家の家紋・三つ葉葵を将軍三代の心になぞらえ人間の生き方を問いかける。NHK大河ドラマ第39作の総集編。全4回。作:ジェームス三木。◆第1回「天下分け目」。慶長3年、秀吉の死をきっかけに時代は大きく動いた。徳川家康と石田三成が、全国の武将を巻き込んで天下を真っ二つに分ける。慶長5年9月15日、濃霧に包まれた関ヶ原が晴れ間を見せ始めた午前7時過ぎ、天下分け目と称されることになる合戦の幕が切って落とされた。
013576	壬生義士伝 新選組でいちばん強かった男[10] 第四部・鳥羽伏見から五稜郭へ(後編)	テレビ東京 46分 2002/1/2	時代劇	貧しい足軽ゆえ、文武に秀でていながら家族を養うために脱落し、新選組に入った無名隊士の生涯を描く。◆盛岡に帰った大野は官軍との交戦を主張し、戦に破れると戦犯として幽閉された。貫一郎の息子・嘉一郎は、南部藩士の誇りを胸に、土方らが最後の地として選んだ函館へと旅立った。父の生き方を知った嘉一郎は涙し、父の汚名をそそぐと、南部の旗を掲げて官軍に突進していく。大正5年(1916)、貫一郎の次男・二代目貫一郎は初めて盛岡を訪れた。そこには彼が開発した冷害に強い「吉村早稲」の稲穂の海が待っていた。

放送ライブラリー公開番組＜夏八木勲さん関連＞

※8階視聴フロアで視聴できます

番組ID	タイトル	放送局	ジャンル	内容
201757	ドラマ サンタが降りた滑走路	NHK 59分 2004/12/24	ドラマ	会社を辞め新島へ向かった青年・聡(吉沢悠)は、クリスマスに島へやってくるサンタクロースを待つ少年・耕太に出会う。サンタに伝えたいことがあるという耕太のために、聡はサンタの正体である耕太の父に会いに行く。◆伊豆諸島の新島。飛行場には管制塔もなく、プロペラ機が調布飛行場とを日に4往復している。聡は、滑走路の脇で操縦を真似る耕太に出会った。耕太は聡を新しいパイロットだと思い込む。古株のパイロット・沢木(夏八木勲)がクリスマスイブにラストフライトを迎えるのだ。去年のクリスマスに島へ来たサンタを心待ちにしている耕太。しかし、そのサンタは離婚して島を出た父・野瀬(うじきつよし)であると、本当は耕太も気付いていた。
201854	テレビ朝日開局45周年記念企画 忠臣蔵〔1〕	テレビ朝日 94分 2004/10/18	時代劇	様々な解釈で語られてきた「忠臣蔵」を、原点に帰り「忠義をもって主君の無念を晴らし、潔く散った義士たちの物語」として描く(全9回)。◆五代将軍綱吉の世。江戸はかつてないほどの繁栄を見せていたが、“生類憐みの令”に代表される権力の横暴も幅を利かせていた。元禄十四年春、京からの勅使饗応役に任ぜられた播州赤穂藩主・浅野内匠頭は、幕府の式典を司る高家筆頭の吉良上野介の指導を仰ぐことになった。清廉潔白な内匠頭は上野介に付け届けをせず、そのために様々な嫌がらせを受ける。我慢を重ねた内匠頭だったが、三月十四日、城中松の廊下でついに刃傷に及ぶ。その裁きは、即日切腹、浅野家取り潰し、かたや上野介にはお構いなしというものだった。
201855	テレビ朝日開局45周年記念企画 忠臣蔵〔2〕	テレビ朝日 47分 2004/10/25	時代劇	赤穂城に総登城を促す太鼓が鳴り響き、家臣二百余名が大広間に参集した。騒然とする皆を前に、主席家老・大石内蔵助は、主君浅野内匠頭が「無念である」という言葉を遺して切腹し、公儀によって赤穂城明け渡しを命ぜられるであろうと告げる。幕府と一戦を交えたいと主張する家臣たちを城代家老・大野九郎兵衛が必死でなだめるが、大石はなかなか腹の内を明かそうとはしなかった。
201856	テレビ朝日開局45周年記念企画 忠臣蔵〔3〕	テレビ朝日 47分 2004/11/1	時代劇	大石内蔵助の嫡男・主税は、単身、隣国竜野藩の家老・加古川本蔵の屋敷へと縁談を断りに向かう。一方、内蔵助は浅野家再興の嘆願のために家臣一同殉死の決定を伝える。そんな中、藩の借財の後始末のために廻船問屋・天野屋利兵衛を訪ねた岡島八十右衛門と赤埴源蔵は、全額返済は不可能であると詫げる。しかし、天野屋は一銭も受け取らず二人を感激させる。いよいよ殉死の日、登城したのは五十六名。多くの者が城を捨てて去っていた。内蔵助は、初めて一同に真意を告げる。
201857	テレビ朝日開局45周年記念企画 忠臣蔵〔4〕	テレビ朝日 47分 2004/11/8	時代劇	赤穂開城から半年、大石内蔵助は主席家老として残務を整理するため江戸へ向かった。江戸では堀部安兵衛が変名で町道場を開き、そこを拠点として不破数右衛門や大高源五らが吉良方の情勢を探っていたが、従順に城を明け渡した元赤穂藩士にも内蔵助にも、町民たちの目は冷たかった。大石は出家して瑤泉院となった内匠頭の妻・阿久里を訪ねる。本心を訊ねられた大石は、浅野大学にお家再興が許されるかどうかをもって決めると告げる。

放送ライブラリー公開番組＜夏八木勲さん関連＞

※8階視聴フロアで視聴できます

番組ID	タイトル	放送局	ジャンル	内容
201859	テレビ朝日開局45周年記念企画 忠臣蔵〔6〕	テレビ朝日 47分 2004/11/22	時代劇	京都の大石邸に、竜野藩家老・加古川本蔵の妻と娘がやってくる。主税との縁談をもう一度考え直してほしいと頼みに来たのだった。しかし夫と息子の苦悩を思うとしくは頷くことができない。その頃、祇園の茶屋で遊んでいた内蔵助を浅野本家の刺客が襲う。そこへ虚無僧が飛び込んできて、内蔵助は危ういところを助けられた。深手を負った虚無僧の正体は加古川本蔵だった。そして、竜野藩主・脇坂淡路守が進めてくれていた内匠頭の弟・浅野大学によるお家復興の願いが公儀から正式に拒否された。内蔵助はついに決意を固める。
201861	テレビ朝日開局45周年記念企画 忠臣蔵〔8〕	テレビ朝日 47分 2004/12/6	時代劇	内蔵介は討ち入りを決め、江戸の天野屋に潜伏。浪士たちは吉良への内偵を進める。岡野金右衛門は改築を請け負った大工の棟梁の娘から屋敷の絵図面を手に入れた。十二月五日に茶事を開くため上野介が在宅すると聞いて討ち入りを決め、それぞれが覚悟を固めるが、茶事が十四日に日延べとなったため討ち入りも日延べ。奇しくも内匠頭の祥月命日と決まった。
201862	テレビ朝日開局45周年記念企画 忠臣蔵〔9・完〕	テレビ朝日 94分 2004/12/13	時代劇	元禄十五年十二月十四日、大石内蔵助は雪の中、瑤泉院を訪ねる。討ち入りを打ち明けたかったが、吉良方の間者に漏れることを恐れ、他家へ仕官が決まったと嘘をつく。吉良邸の隣に屋敷を構える土屋相模守は、前日の世間話で赤穂浪人・大高源五の話が出たことから、討ち入りが今夜であることを予測していた。そして、蕎麦屋の二階に集まった一同は本所松坂町へと向かう。
＜ラジオ番組＞				
番組ID	タイトル	放送局	ジャンル	内容
R01745	FMシアター 茶湯寺で見た夢	NHK 51分 1999/4/10	ドラマ	病氣と闘いながら作品を残した作家の自伝的ドラマ。◆60歳で咽頭ガンのため声を失い、以後、己の生と死を見つめた小説を書きつづけた石和鷹。壮絶な闘病生活を通して、近づいてくる死を意識しながら生の証を克明に記した彼が、ついには死をも許容できる「人間の底知れぬしたたかさ」を体得するまでを描く。
＜テレビCM＞				
番組ID	タイトル	制作年	秒数	広告主(商品名)
A22022	秋、里帰り／玄米茶づくり／花見船／新茶、衣替え	2008年	120秒	サントリー(伊右衛門)
＜ラジオCM＞				
番組ID	タイトル	制作年	秒数	広告主(商品名)
F22751	クジラがいないいます	1985年	20秒	ソニー(カセットテープ)
F22770	クジラがいないいます	1985年	60秒	ソニー(カセットテープ)
F22782	クジラ通信	1985年	120秒	ソニー(カセットテープ)
F22783	海の中のピアノ／海の中のメロディ／海の中のバリトン歌手	1985年	270秒	ソニー(カセットテープ)